

JZA80 エアフローメーター(22204-20010, 22204-46010) 整備要領について

JZA80 スーパーにお乗りのお客様、修理業者様、販売店様へ

MIL 点灯/アイドル不調/ドラビリ不良等により、エアフローメーター交換を検討する場合、エアフローメーターのセンサ部をエアブローすることで、交換しなくても正常復帰する場合があります。以下にその要領を記載しますからご確認頂くことをお勧めします。

なお、以下ダイアグが示された場合はセンサ部エアブローを施しても復帰しないため交換願います。

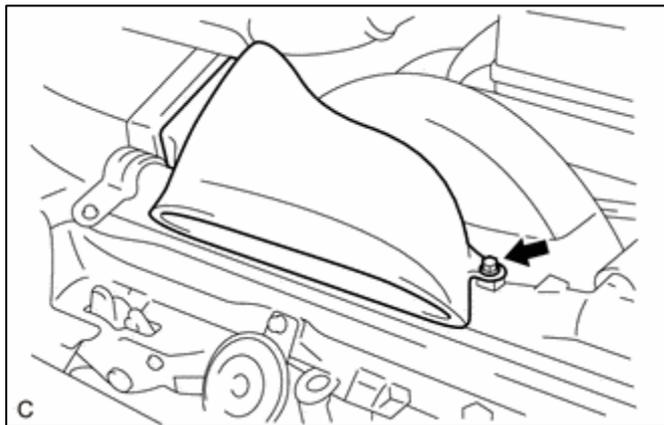
<ダイアグコード>

P0110:吸気温センサ信号系統異常

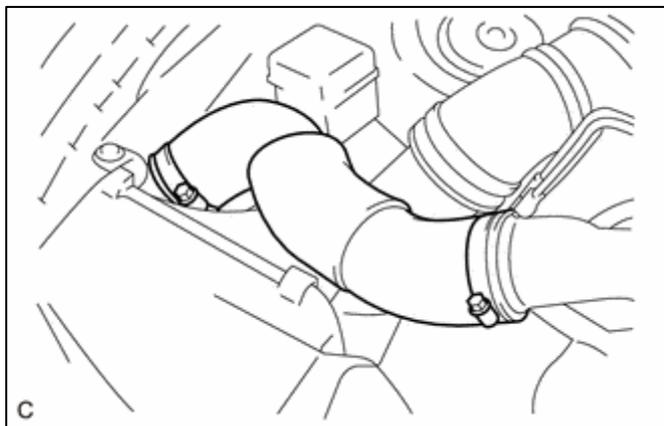
P0100:エアフローメーター信号系統異常(エアフローメーター回路破損)

エアフローメーターおよび ECU のコネクタ部電気接続、およびワイヤハーネスの断線・ショートをご確認ください。

a. ボルトをはずし、エアクリーナーインレットを取りはずす。

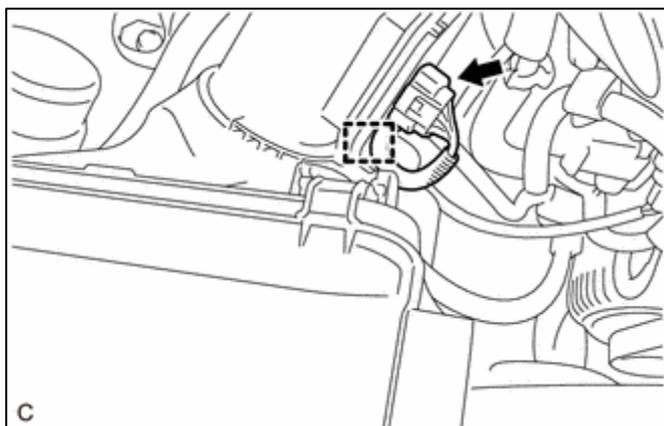


b. ホースクランプ 2 個をゆるめ、エアホース No. 1 を取りはずす。

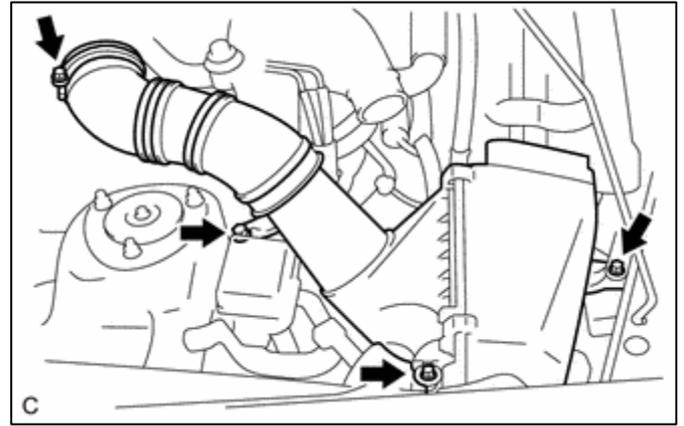


c. エアクリーナーASSY を取りはずす。

i. エアフローメーターのコネクタを切り離す。



- ii. ホースクランプをゆるめ、エアクリーナーホースを切り離す。



- iii. ボルト 3 本をはずし、エアクリーナーASSY w/エアクリーナーホースを取りはずす。

- iv. ホースクランプをゆるめ、エアクリーナーASSY を取りはずす。

- v. クランプ 2 個をはずし、エアクリーナキャップ SUB-ASSY を取りはずす。

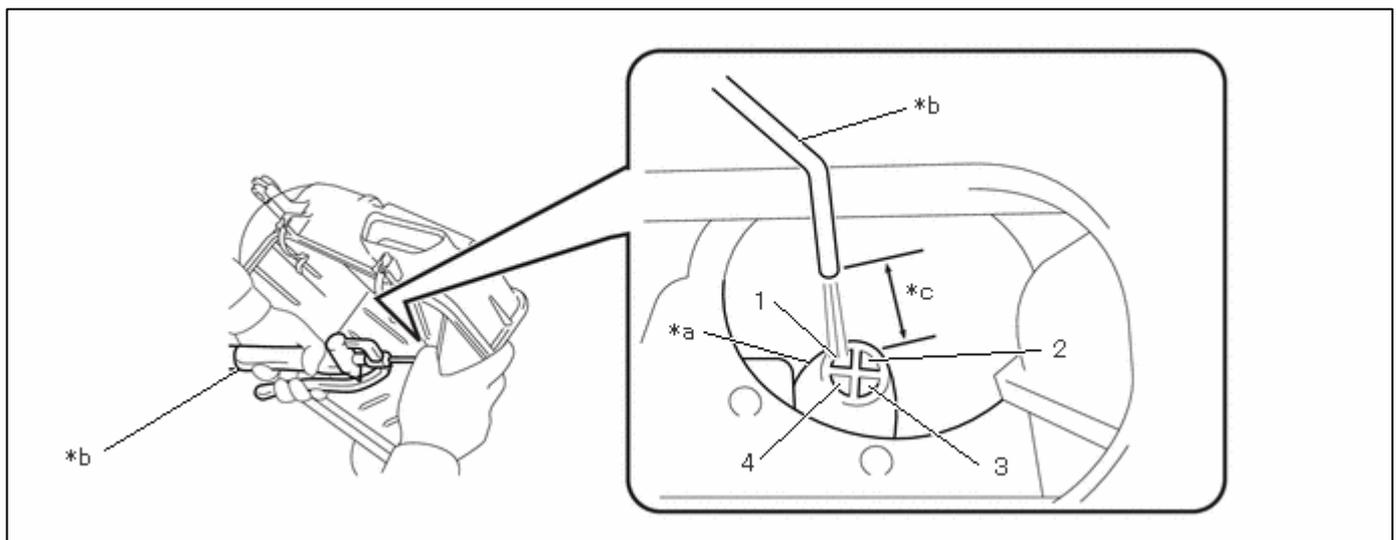
- vi. エアクリーナフィルタエレメント SUB-ASSY を取りはずす。

d. エアフローメーター清掃

- i. エアダスターを使用して、イラストのように 1 から 4 の穴に約 3 秒ずつエアを吹き込み、エアフローメーターを清掃する作業を 2 回行う。

■ 注意 ■

- エアダスターのノズルとエアフローメーターを約 50 mm 離して使用する。
- スプレークリーナー等の洗浄剤を使用しない。



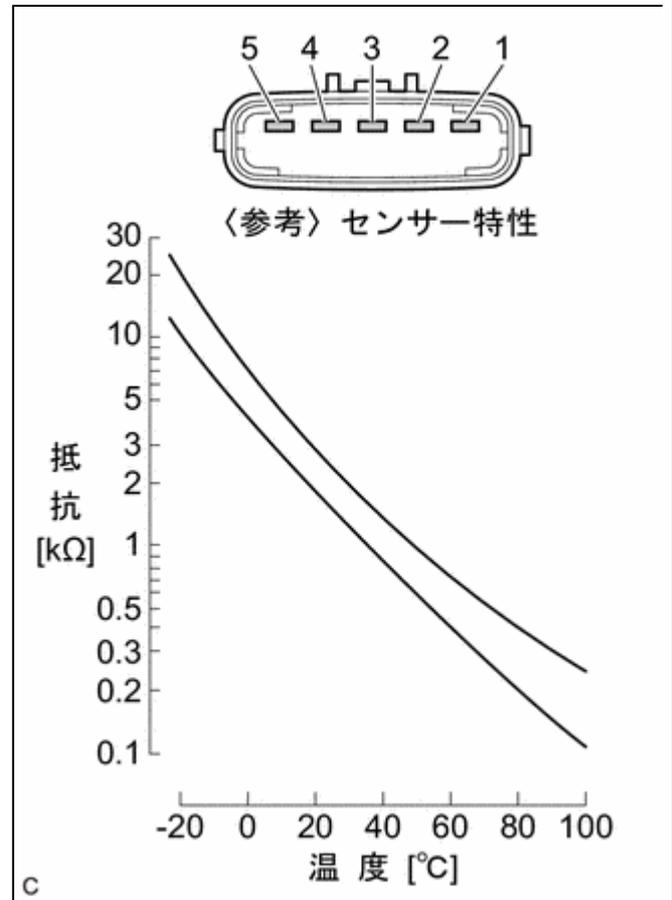
| | | | |
|----|-----------|----|--------|
| *a | エアフローメーター | *b | エアダスター |
| *c | 約 50 mm | - | - |

e. エアフローメーター点検 (吸気温センサー部)

i. 端子間の抵抗を測定する

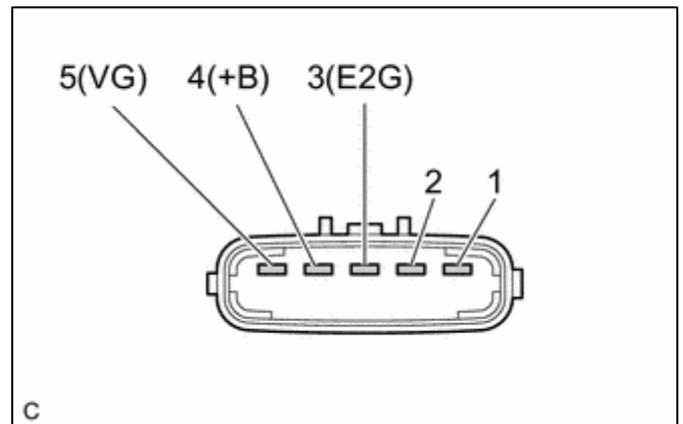
抵抗値:

| 点検端子 | 点検条件 | 基準値 |
|----------------|-------|---------------|
| 1(THA) - 2(E2) | 20° C | 2.2 to 2.7 kΩ |



f. エアフローメーター点検 (エアフローメーター部)

i. エアフローメーターの 4(+B)端子にバッテリーの(+), 3(E2G)端子にバッテリーの(-)を接続する。



ii. エアフローメーターに空気を吹き込んだとき、5(VG) - 3(E2G)端子間の電圧を測定する。

基準:

電圧値が変化する

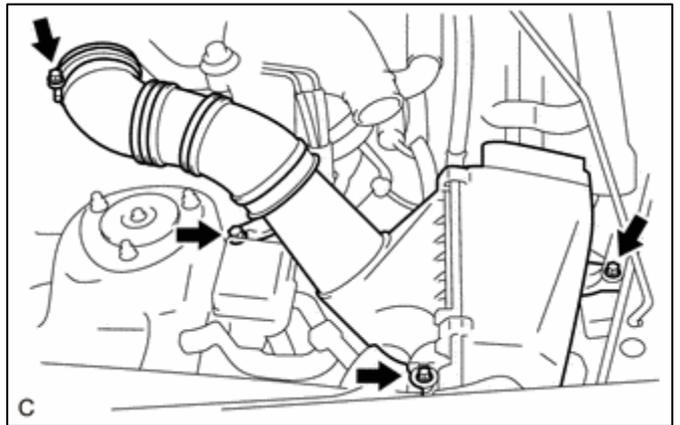
g. (e)、(f)の点検結果が基準値外の場合は、エアフローメーターを交換する。

h. エアクリーナーASSY 取り付け

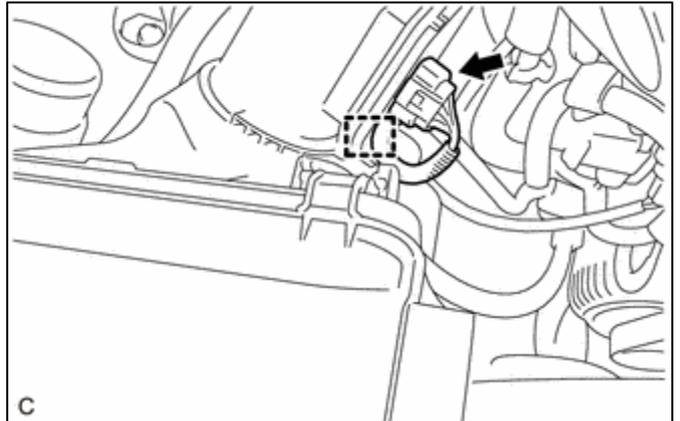
- i. エアクリーナフィルタエレメント SUB-ASSY を取り付ける。
- ii. エアクリーナキャップ SUB-ASSY を取り付ける。
- iii. エアクリーナーホースをエアクリーナーASSYに取り付ける。
- iv. ホースクランプを締め付ける。

v. ボルト 3 本およびホースクランプで、エアクリーナー ASSY w/エアクリーナーホースを取り付ける。

トルク:
50 kg \cdot cm



vi. エアフローメーターのコンネクターを接続する。



i. ホースクランプ 2 個で、エアホース No. 1 を取り付ける。



j. ボルトで、エアクリーナーインレットを取り付ける。

トルク:
50 kg \cdot cm

